

「ICT を活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第 6 回)について (国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、ICT を活用した歩行者の移動支援施策を一層推進し、今後の方向性について検討を行うため、昨年 9 月より国土交通大臣政務官の主宰の下、「ICT を活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(座長：坂村健 東京大学大学院情報学環教授)を設置し、議論を行っています。



第 6 回勉強会の様子

この度、第 6 回勉強会が開催されましたのでご紹介させていただきます。

【第 6 回勉強会(12 月 7 日開催)について】

第 6 回勉強会では、ICT を活用した歩行者移動支援施策の目指すべき方向性や、継続的なサービスの実現に向けたビジネスモデルについて議論されました。

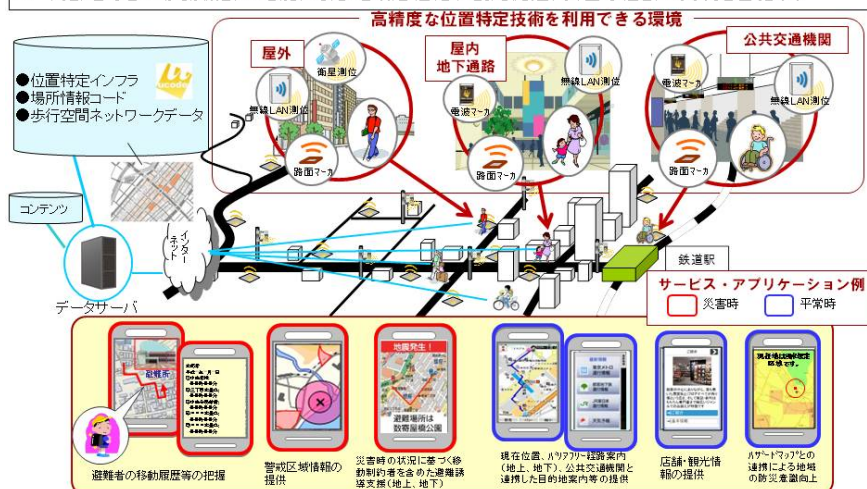
具体的には、目指すべき方向性として、ユニバーサル社会に向けて、誰もが積極的に活動できるバリアフリー環境の構築をソフト施策の面から推進するため、ICT を活用した歩行者移動支援サービスの普及を図ることとし、当面の目標及び今後のロードマップについて議論がなされました。

また、継続的なサービスの実現に向けたビジネスモデルについては、課題と方向性、歩行空間ネットワークデータの維持更新の仕組み、民間活力の活用、サービスの普及に向けたガイドラインの作成について議論がなされました。

1) 目指すべき方向性 (ユニバーサル社会)

国土交通省

- ユニバーサル社会に向けて、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが積極的に活動できるバリアフリー環境の構築をソフト施策の面から推進。
- 携帯機器や位置特定技術の技術革新及び場所情報コードを組み込んだ歩行空間ネットワークデータの整備によりICT(情報通信技術)を活用した歩行者移動支援サービスの普及促進を図る。
- 高齢者などの移動機会の増加による地域活性化や観光促進、安全な社会の実現を目指す。



第 6 回勉強会資料抜粋(目指すべき方向性)

更に、国土交通省の事業の一環として実際に歩行者移動支援サービスを構築し、継続してサービス提供している事例(京都地区、津和野地区)について紹介しました。特に、京都地区についてはサービス提供事業者にも参加いただき、ビジネスモデルや継続的な運営のための工夫などについてヒアリング及び意見交換を行いました。

概要

- 小さな子連れ旅行者や外国人旅行者を対象に、京都嵐山地区、宇治地区で音声ガイド情報、寺社や博物館等のトイレ、緊急時医療機関、授乳室、観光施設の位置情報の提供と経路案内を提供
- 京都地区では、地域情報発信のアプリケーションとして他地区へ展開が容易にできる設計で作成されている。システム運営の維持費用を確保のため、システム利用団体を広く募集

移動支援サービス(ご当地ナビ)の概要



子連れでも安心していただけるトイレはどこに?

子連れ観光客

【提供サービス】

- ・**バリア情報提供**
トイレ情報(車イス対応、オストメイト対応等)、エレベーター入口情報、授乳室情報
- ・**観光情報提供**
観光情報、イベント情報、緊急医療機関情報 等
- ・**バリアフリー経路案内**
経路上のバリア情報(段差、狭幅員箇所)を踏まえて案内
- ・**まち歩きモバイルガイド**
音声で道路情報や観光ガイドを提供
- ・**交通情報**
- ・**防災情報(一部地域のみ)**

<http://flowertourism.net>

共感を伝える地域メディア

第 6 回勉強会資料抜粋(京都地区の事例紹介)

なお、会議資料及び議事概要は、勉強会ホームページに掲載しています。

【「ICT を活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」ホームページ】

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_fr_000002.html

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付 TEL:03-5253-8794